

# みとファミサポだより ぱっそ あ ぱっそ 32号

passo a passo (イタリア語で一歩一歩の意味) 未来に向かって

発行：水戸ファミリー・サポート・センター

〒311-4143 水戸市大塚町 1863-169

Tel 029-303-7277 Fax 029-303-7288 <http://www.famisupo-mito.com>



令和3年8月20日発行

## 2021年度会員講習会を開催しました

第1回～4回 水戸市シルバー人材センター会議室にて協力・両方会員を対象にして行われました。

◆◇ 第1回：6月24日(木) ◇◆

【発達障害の正しい理解のために】

特別支援教育課 新堀知絵先生

【自家用車の使用について】アドバイザー

＜参加者から＞

色々な障害があることを知りました。

読むこと・書くことの体験を通して、理解することが大切なのがありました。



全般的な知的発達の遅れが軽度か、あるいは知的発達の遅れを伴わない。本人の努力不足や家庭環境、保護者の養育態度が原因となるものではない。脳の中枢神経に何らかの原因があると考えられている。

◆◇ 第2回：7月1日(木) ◇◆

【サポートを円滑に行うために】アドバイザー

【子どもとのふれあい】青木千鶴子先生

＜参加者から＞

おりがみの実践が楽しかったです。3つのポイントを毎日活用したいです。

遊びのヒントがよかったです。



◆◇ 第3回：7月8日(木) ◇◆

【保育の心】保健師 広岡深雪先生

【子どもとの遊び】青木千鶴子先生

＜参加者から＞

共感の気持ちを大事にしたい。いろいろな話を聞けて良かった。

輪投げ、手遊びよかったです。楽しませていただきありがとうございました。



◆◇ 第4回：7月15日(木) ◇◆

【身体の発達と病気】

丸山小児科・皮膚科 丸山剛志 院長

＜参加者から＞

多くの問題点に目を開いてくださって、視野が広がりました。

初めての情報を知ることができて有意義でした。



※コロナ禍の中、マスク着用・手指消毒を行い、  
を避けるなど感染防止対策を講じて行いました。



★利用会員さんへ おねがい★



## 協力会員へ依頼時は…センターへのご連絡も忘れずに！

事前打合せを終えている利用会員さんと協力会員さんとで、支援が定期的な場合など、次の月の支援予定を、双方で調整されることも多いかと思えます。……でも、その後、センターへの連絡が、『うっかり』なかったことが時々みうけられます。

センターでは、万一の事故に備え補償保険に加入しておりますが、センターへの連絡が確認できない支援は、補償対象外となってしまいます。

大切なお子さんをご支援する安心・安全な活動のためにも、忘れずにセンターにご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### お知らせ

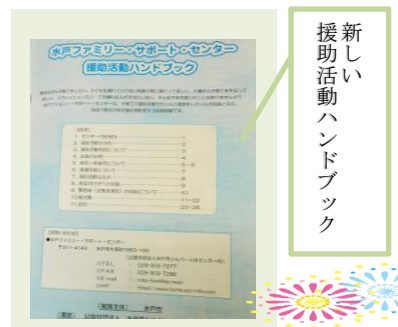
援助活動ハンドブックを改訂しました。

<主な変更点>

P.4 自家用車を使用する場合のガソリン代…1kmあたり 50円

P.22 「安全チェックリスト」の項目

P.23～水戸ファミリー・サポート・センター事業会則



新しい援助活動ハンドブック

自家用車使用申請・許可制における

「水戸ファミリー・サポート・センター自家用車使用要項」を改正しました。

### <各会員登録数>

[R3年7月末]

	会員数
利用会員	1,127
協力会員	176
両方会員	56
計	1,359

### 協力・両方会員大募集！！

スムーズな支援活動のために、周りに協力していただける方がいましたら、ぜひお声がけください。

### 《ファミサポ事務局からのお願い》

① 会員継続について（ハガキが同封されている方）はご記入の上、必ず返送下さい。

しばらくご利用のない会員さんもお子様は小学生の間は継続することをおすすめします。退会后、再度ご利用の場合はあらためて説明会への参加、登録・面談が必要となります。

② 援助活動において**感染防止**に努めてください。

◆検温、手洗い、換気、マスク、消毒など。

◆お子さん、協力会員さんの体調が悪い時、また同居家族に気になる症状がみられる場合には、活動を控えてください。

◆同居家族に濃厚接触者がいる場合には、ファミサポ援助活動・依頼（利用）はできません。

◆依頼や援助について不安や気になることがある場合はファミサポにご相談下さい。

